

仙人通信 160 岩櫃山(802m)

岩櫃山は、草津と渋川を結ぶ国道 145 号沿いの JR 郷原駅の上に聳える 200m 程の岩峰で、吾妻八景として又大河ドラマ真田丸で有名になった岩櫃城跡を持つ事で知られている。

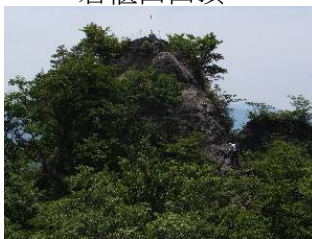
JR 群馬原町駅から国道に架けられた橋の下を潜り、沢沿いの林道の先の平沢登山口の駐車場に車を置き、尾根道を往復するコースとした。

駐車場の先には、六文銭の旗印を立てた岩櫃城を中心とした観光案内所である。大河ドラマの地域観光への影響の凄さだ。この地点は海拔が約 500 m で、山頂までの 3 合目に当たる。周囲には、タツナミソウや赤いムシトリナデシコそして黄色い星状の花を付けたマンネングサが迎えてくれていた。コースは、案内所の先で沢通りコースと尾根コースに分かれる。杉林を 5 分程進むと、尾根に向かい開けた地点に出る。地面では黄色いクサノウが咲き乱れ、又頭の上では栗の花の甘い香りに満ちた岩櫃城の中城跡だ。丸太の階段に沿って登り進む傍らでは、マムシソウ・マルハイチヤクソウだ。15 分程で岩櫃城本丸址のある尾根に出る。尾根の北側からは、嵩山の先に残雪の谷川岳も望めるも、南側の眺望を期待したが、新緑に覆われ吾妻川がやっと望める程度であり、応時を偲ぶ事は出来なかった。杉林を僅か下り、沢通りコースの分岐を過ぎ尾根へと登り進む。尾根上に 2m 程の高さの天狗岩が現れる。岩登りコースとまき路コースに分かれるも 5 分程進んだ先で合流し、城跡から 25 分程で郷原方面からの赤岩通りと合流だ。更に 2 分程進むと沢通りからのコースも合流する櫃の口である。目の前には、垂直に立った天狗の蹴上げ岩等の岩がチムニー状態だ。黒い多種の小さな岩を凝結した凝灰岩のようである。その岩壁の間を鉄の階段や鎖を頼りに登る。青天のおかげで足元はよく乾燥しており、滑る心配も不要だ。見上げると黄色く熟れたキイチゴだ。2 粒程摘み採り季節を噛みしめた。日蔭の岩肌は、緑のイワタバコの葉で覆われている事から可愛い花を期待して探すも、未だ花芽もなく残念！。薄紫の小さなコアジサイや黄色いニガナも散見された。櫃の口から 20 分程で 9 合目のピークだ。目の前に小さな岩櫃の山頂だ。3m 程鎖で下がった後に、梯子と鎖を頼りに 20 m 程登った所が山頂である。岩肌には、黄色いイワキンバイの花がしがみ付き咲いていた。スタートしてから 1 時間 20 分で山頂到達！。5 人がやっと立てる広さだが、360° の展望だ。真北から高田山・稲包山・平標山・吾妻耶山・谷川岳・小野子山・子持山・武尊山・赤城山・掃部ヶ岳を主峰にした榛名山・遠くに妙義山・鼻曲山・浅間隠山・浅間山塊・四阿山・本白根・大高山や八間山と、嘗て登った山々だ。思い募っていると、地元の 84 歳の方（山頂の写真の右下の白い下山者）が登ってこられ、山話を通し元気を頂いた。復路を含め丁度 3 時間（9500 歩）の山登りでした。（h29. 6. 20）

岩櫃山(郷原駅より)



岩櫃山山頂



岩櫃城跡

